

日本食物繊維研究会第2回学術集会と公開講演会の御案内	1
日本食物繊維研究会第2回学術集会予告および演題募集のお知らせ	2
研究会News	6
投稿論文の呼びかけ	8

日本食物繊維研究会 第2回学術集会と公開講演会の御案内

第2回学術集会長
片山 洋子

第2回学術集会および公開講演会は本年11月14日（金）、11月15日（土）に大阪にて開催されることとなりました。ところで、第1回学術集会および公開講演会は昨年12月奥恒行先生の多大の御努力によって盛会裏に終了したわけですが、その終了と同時に、次回は関西地区でお引き受けしなければならないという重責を私は実感しました。それ以来、本研究会のめざすところを明確にできるようになんとか特色を盛り込めないだろうかと考え続けてきました。それには、従来学会発表よりも時間に余裕を持たせて、あるテーマのもとに、数人が話題を提供して会員同士が討論するというシンポジウムがふさわしいことに気づいたのですが、このような考えは印南会長が折にふれて述べられているところでもあります。

さて、本研究会の会員は食物繊維や難消化性オリゴ糖の生理機能あるいはこれらの定量法などとその研究分野がかなり広く、しかも多様であるのが特徴であると思われます。このような現状をふまえますと、シンポジウムを計画するにあたっては、一つのテーマに焦点をしばって研究者の間で深く考えてみる機会をつくってみるのが時宜を得ているものだと考えました。食物繊維の定量法については、いずれ本研究会がとりあげなければならないテーマですし、食物繊維と脂質代謝との関連についても今後とりあげる必要があるでしょう。この数カ月の間、常任幹事会とご相談しながら、計画を練ってきたのですが、今回は、はじめての試みとして「食物繊維と消化管環境」というテーマのもとシンポジウムを行う運びとなりました。

第1日目、11月14日（金）の会場は大阪市立大学杉本キャンパスですが、一般講演には昨年と同様に質疑応答のための時間を十分にとり活発な場にしたいと思っています。皆様のご協力をお願い申し上げます。

公開講演会は第2日目、11月15日（土）の午後に近鉄劇場（大阪市天王寺区）を会場として開催します。第2日目午前中の一般講演会場を近鉄劇場と隣接した上六（うしろく）三和ホールにします。以上のように第2回学術集会および公開講演会の開催に向けて準備をすすめておりますので、会員のみならず御要望や御質問あるいは御助言を第2回学術集会事務局あてに頂きたいと存じます。

第2回学術集会開催および演題募集のお知らせ

1. 第2回学術集会開催のご案内

本年の日本食物繊維研究会第2回学術集会を大阪市立大学生活科学部・片山洋子教授を学術集会会長とし、関係諸先生のお世話により下記の通りに開催します。会員多数のご参加と食物繊維をはじめとする難消化性糖類周辺の幅広い分野からの演題申込を期待します。

1) 日 時：平成9年11月14日（金）～15日（土）

2) 場 所：

大阪市立大学学術情報総合センター 11月14日（金）9：30～17：30

大阪市住吉区杉本3-3-138 TEL: 06-605-3213

JR 阪和線杉本町駅下車 徒歩10分

上六（うえろく）三和ホール 11月15日（土）9：30～12：00

大阪市天王寺区上本町6丁目7-2 上六三和会館6F TEL:06-771-4679

地下鉄谷町線谷町九丁目下車 徒歩10分

3) 講演および討論

発表はスライドプロジェクター1台を用いて行います。本学術集会においては、討論が活発にできるようにしたいと考えております。このため、1演題の持ち時間を少しでも長くする予定です。

4) 総会および学術集会受付

受付は開始30分前より行います。参加費・会場費（講演要旨集込み）として、正会員 3,000円、学生会員 1,500円、非会員 4,000円を申し受けます。

5) 呼び出し、クローク、昼食、宿泊等の手配など

- 会場での呼び出しは行いません。また、クロークも設置しませんので、荷物等は各自で保管して下さい。
 - 昼食弁当等を用意致しませんので近くのレストランをご利用下さい。
 - 宿泊等の手配を行いませんので、各自で行って下さい。
-

6) 学術集会会場への交通案内

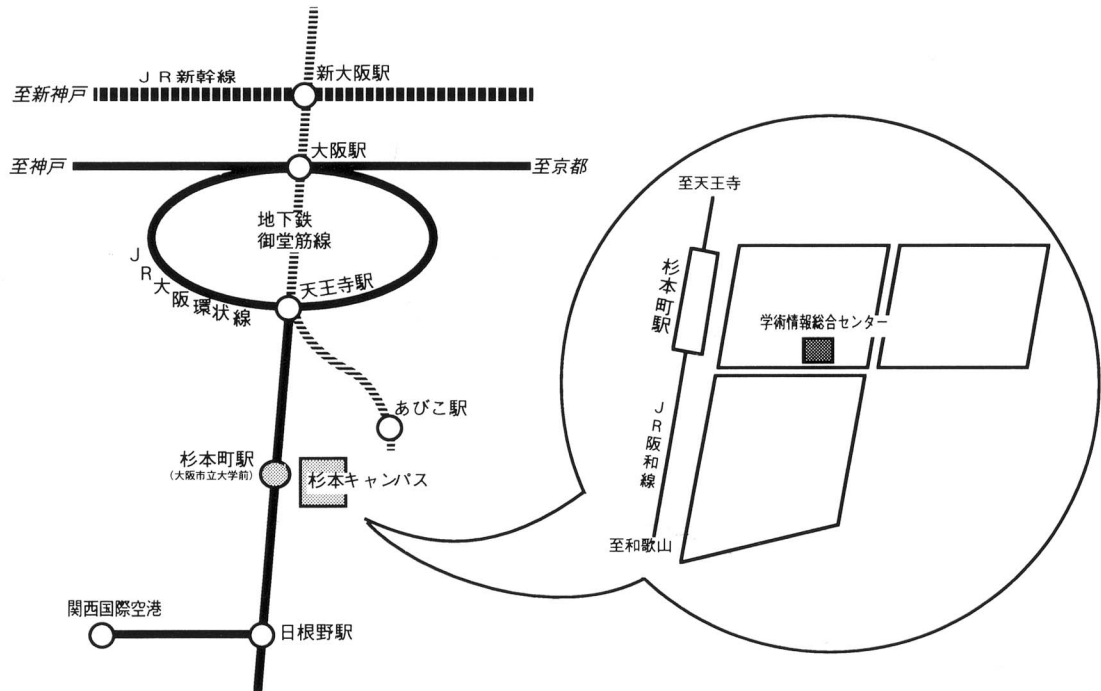
大阪市立大学学術情報総合センター

杉本キャンパス

大阪市住吉区杉本3-3-138

JR「杉本町（大阪市立大学前）駅」より東南へ徒歩約10分

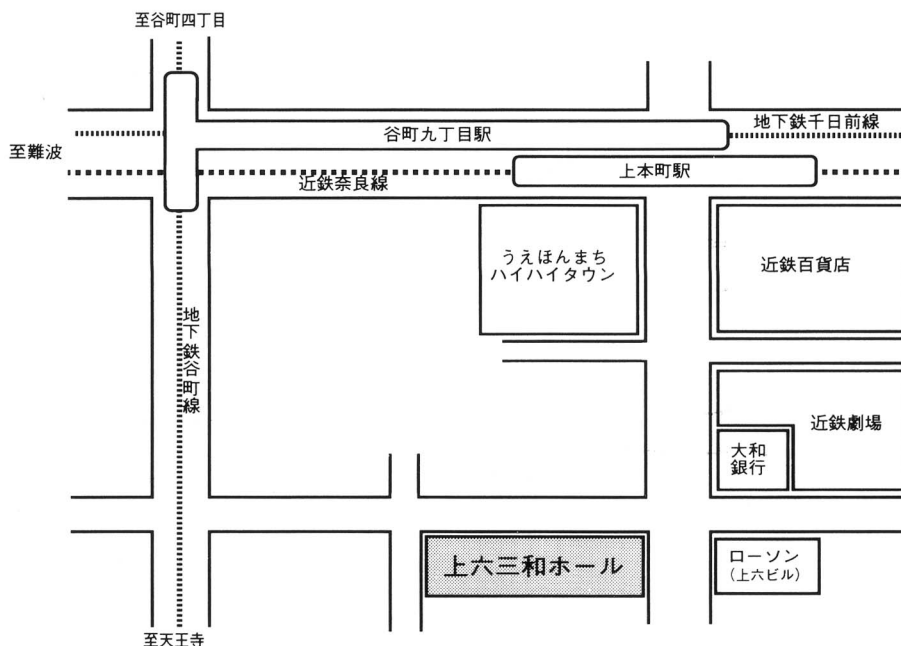
地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車、4番出口より南西へ徒歩約20分



上六三和ホール

大阪市天王寺区上本町6丁目7-2 上六三和会館6F

TEL: 06-771-4679



2. 一般演題申込要領

1) 申込期限

平成9年9月1日（月）必着のこと

2) 申込先

日本食物繊維研究会第2回学術集会事務局

〒558 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学生活科学部栄養生理学研究室内

3) 講演要旨作成要領

①講演要旨原稿はオフセット印刷するのでワープロ（黒印字）でB5サイズ2頁（B4サイズで見開き1頁になる）に仕上げてください。印刷スペースについては次頁の一般講演要旨フォームをご参照下さい。

②図表を入れる場合は指定の枠内に納まるようにして下さい。

③用紙は通常のプリント用紙を用いて下さい。

④発表者が複数の場合、講演者の左頭に○印を付けて下さい。

⑤所属は略称を用い、氏名の後に（）で囲んで下さい。

⑥講演要旨原稿のオリジナルとコピー1部およびフロッピーをお送り下さい。

⑦複数の講演要旨を同封する場合はその由を封書に朱書して下さい。

⑧折り曲げないようにして、「簡易書留」でご送付下さい。

⑨講演要旨原稿受領通知用のはがき1枚（宛名を記入したもの）を同封して下さい。

4) その他

①発表者のうち1名以上は本研究会会員であることが必要です。

②演題の採否、講演日時等はプログラム委員会にお任せください。

プログラムは学術集会前に届くよう発送の予定です。

5) 演題申込に関するお問い合わせ先

日本食物繊維研究会第2回学術集会事務局

〒558 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学生活科学部栄養生理学研究室内

Tel & Fax 06-605-2816

一般講演要旨フォーム

余白約3cm

食物繊維の○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
約2cm ○本郷太郎(東大・医)、戸山花子(国立栄研・食品科学)

余白約3cm

余白約2cm

B-5サイズ2枚
(見開きB-4・1枚)
30字×30行前後、明朝体
字の大きさ;
本文 : 10~12ポイント
タイトル : 13~15ポイント

余白約3cm

余白約3cm

余白約3cm

余白約2cm

余白約3cm

研究会News

「日本食物繊維研究会誌」の発行に関して

1. 編集に関するアンケート結果を踏まえた編集方針について

当研究会学術雑誌の編集に関するアンケートにご協力いただきましてありがとうございました。231通を発送して、56人の会員からご返事を頂きました。編集委員会ならびに常任幹事会では、会員の皆さんのお考えや意見を踏まえて当会誌の編集方針を検討しているところであります。現在のところ以下のような考えにまとまりつつありますので、お知らせ致します。ご意見のある方は研究会事務局までお寄せください。

- 1) 学術雑誌名は「日本食物繊維研究会誌」(英文名; *Journal of Japanese Association for Dietary Fiber Research*) が断然多かったことを考慮して、これを採用することにしました。
 - 2) 会誌発行は当分の間、年2回(6月と12月)とし、ニュースレターはその間に2回(3月と9月)発行を原則とします。
 - 3) 論文の査読を依頼する時、論文に著者名を付けない学会もありますが、当会誌では著者名を付けて依頼することにします。なお、査読していただいた方の氏名はなんらかの形でまとめて雑誌に公表する予定です。
 - 4) 投稿料(郵送料の一部負担)は1編3,000円とします。
 - 5) 査読者は1論文2名を原則とし、査読料は1編につき2,000円を図書券にて支払う予定です。
 - 6) 編集委員会は必要に応じて開催しますが、年に会誌2回とニュースレター2回、計4回発行するので、少なくとも年4回以上開催したいと考えています。
 - 7) 編集補助費(原稿打ち込み料)
手書き原稿の場合、原稿打ち込み料として論文の刷上がり6頁までは一律10,000円、これを越えた場合は1頁あたり2,000円を申し受けることにしました。総説等の依頼原稿の取り扱いについては、今後検討します。
 - 8) 雑誌の体裁はA4版、上質紙、2段組、1頁約1440字とします(和文の日本衛生学雑誌に類似した体裁になります)。本誌には英文原稿も掲載します。
表紙は緑色を基調に、当研究会のロゴマークを入れます。すでに、表紙のデザインはできております。また、国立国会図書館登録のISSN番号をいただく手続きをしているところです。
 - 9) 本誌への投稿は会員に限ることにしたいと考えています。当分の間、共著者は全員会員であることが前提になります。ただし、賛助会員が投稿する場合は共著者が多くなりますので、この取り扱いについてはさらに検討します。
-

- 10) フロッピー投稿を原則としますが、その手順等については投稿規定に載せます。いずれにしても、投稿論文の査読が終わって掲載可となった論文について著者から最終原稿が入ったフロッピーを送付していただくことになると思います。詳細については投稿細則に載せる予定です。
- 11) E-mail 入稿も受け付けることにしたいと考えています。当分の間、印刷所への入稿原稿を作成する編集委員のところに送っていただくことになります。後日、address をお知らせ致します。

2. 「日本食物繊維研究会誌」1巻1号の掲載内容(案)について

「日本食物繊維研究会誌」1巻1号の編集は模索しながら進めているところですが、タイムスケジュールが詰まってきたので手続き等が変則的になるところがあります。会員各位のご理解とご協力をお願い致します。1巻1号の全体の構成は以下のようにするべく努力しているところです。

- 1) 目次は表紙に記載する。
- 2) 印南会長巻頭語
- 3) 総説2編 ① Dr. Leeds (本会設立講演会の演者で原稿依頼中)
② 日本人の食物繊維摂取量について
- 4) 原著3～4編 (アンケートで、投稿できる論文を持っている方に依頼、食物繊維関係とオリゴ糖・糖アルコール関係のものを採用予定)
- 5) 企業の窓2社 (常任幹事会で依頼先を決定)
- 6) 文献紹介2編 (大学関係者と企業関係者各1名)
- 7) 第1回学術集会講演要旨(18演題)
- 8) 投稿規定・細則、会則、役員リストなど

なお、学術集会・公開講演会案内などは色刷りで入れる予定。発行は7月末日を目標にしています。これを過ぎると、お盆休みに入って発行は大幅に遅れることとなりますので、編集に鋭意努力しているところです。論文掲載料・別刷代等は、現在検討中です。

投稿論文の呼びかけ

日本食物繊維研究会誌を刊行することになり、第1巻1号の編集作業を鋭意努力しているところであります。今回は不慣れなこともあって発行までのスケジュールが非常に詰まっているため手続きが少し変則的になり、会員の皆様の意向を十分に反映していないことがあるかと思いますが、ご容赦下さい。

1巻2号は12月発行の予定です。投稿予定の論文をお持ちの方は早めに投稿下さいようお願いいたします。また、当研究会誌には「企業の窓」や「海外文献」の欄もあります。これらにも奮ってご投稿下さい。また、会員に役立つと思われる国内外の新しい情報・資料、面白い話などをお持ちの方は、是非原稿・記事を事務局までお寄せ下さい。なお、お寄せいただいた原稿は編集委員会で掲載の可否を検討させていただきますので、ご了承下さい。皆様の期待に添うような研究会誌にしたいと考えておりますので、積極的に御協力下さいますようお願いいたします。

日本食物繊維研究会誌編集委員会

会員状況：平成9年6月2日現在

正会員	183名	学生会員	7名	賛助会員	31社
団体会員	4団体	名誉会員	6名		

【賛助会員】

参松工業株式会社	太陽化学株式会社	株式会社荻野商店
全国精麦工業協同組合連合会	大日本製薬株式会社	日本食品化工株式会社
佐合食品工業株式会社	カルター・フードサイエンス株式会社	大塚製薬株式会社
雪印乳業株式会社	キッセイ薬品工業株式会社	伊那食品工業株式会社
財団法人日本こんにゃく協会	株式会社はくばく	日本ケロッグ株式会社
株式会社林原生物化学研究所	社団法人菓子総合技術センター	三州製菓株式会社
松谷化学工業株式会社	サントリー株式会社	オリヒロ株式会社
株式会社カイゲン	富士バイオ株式会社	日清製粉株式会社
山ノ内製薬株式会社	日本甜菜製糖株式会社	武田薬品工業株式会社
日本バイオコン株式会社	旭化成工業株式会社	塩水港精糖株式会社
第一出版株式会社		(順不同)

日本食物繊維研究会 JDF News Letter No.3

発行日 : 1997年6月30日
 発行人 : 日本食物繊維研究会会長 印南 敏
 編集人 : 奥 恒行、青江誠一郎
 事務局 : 日本食物繊維研究会事務局
 〒162 東京都新宿区戸山1-23-1
 国立健康・栄養研究所 食品科学部内
 TEL: 03-3203-5601, FAX: 03-3203-7584
 印刷所 : 株式会社 交友社
 〒136 東京都江東区大島8-38-5

